

「絵本男子」が子育て応援



「お月さまについたパパは、『むすめのモニカがあんなとあそびたがってるんだ』といいました」

7月、川崎市中原区の書店。エプロンを着た若い男性が大きな絵本を開き、集まった子どもたちに読んで聞かせる。「イケメン」による読み聞かせイベントだ。川崎・武蔵小杉で保育支援サービスを手がける「グランドクロス」が仕掛けた。

会場には親子連れ計約70人が詰めかけた。パパの姿もちらほら。絵本を読むのは舞台俳優などとして活躍中の20代の男性2人。その名も「絵本男子」だ。パパに育児参加のイメージを持ってもらおうという発想

グランドクロス

モデルやダンサー、読み聞かせ



「絵本男子」が子どもたちに絵本を読み聞かせるイベント＝グランドクロス提供

もあつたが、ママの心をつかんだ。追っかけも現れ、「この絵本知ってる？」という呼びかけにはママたちも「知ってる！」と応じる。イベント後には撮影会もある。

絵本男子は昨年11月にスタート。五つの保育園を運営するグランドクロスの堀川伸一社長(38)が企画した。

モデルやダンサーなど登録された20人あまりの絵本男子が、サイト上で読み聞かせや手遊びなどの動画を配信。今月1、2回、書店などで実

演もする。「開演の3時間前から、追っかけの女性も来てくれます」と堀川さん。

堀川さんが、同社を立ち上げたのは2007年9月。派遣会社で支店長を務めていたが、保育園で働いていた妻(38)の話や聞くなどするうちに幼児教育の大切さに目覚め、一念発起した。

大切にしているのは「まず子育てを楽しんでほしいということ」。運営する保育園では、園長経験のある女性マネージャーが巡回し、親だけでなく保育士の相談を受けて、悩みを吸い上げる。絵本男子も、その延長で考えついた。

同社が発行し、イケメンたちが1日保育士体験をしたりポートなどを紹介する、保育専門誌「MIRAKU(ミラクル)」は、発刊約5年で部数が約2万部に。2年前には、「パパにとって心強い応援団」と評価され、日本地域情報振興協会主催の「日本タウン誌・フリーペーパー大賞2014」の新創刊部門で最優秀賞も受賞した。

4歳の長男と7カ月の長女を育てる堀川さんは「遊び心を持つ親たちを見て、子どももきっと楽しいはず。これからは色々仕掛けていきたい」とほほえむ。(豊岡亮)

力を抜いて男性も参加を



卒園式などで保護者から感謝の言葉をもらったことが、今でも仕事の励みになっています。絵本男子などをきっかけに、男性の育児参加を進めていくことに、少しでも力になりたいと感じています。男性保育士ももっと増えてほしい。力を抜いて面白おかしく育児に参加してほしいですね。

堀川伸一社長

中原区民 定住志向77%

「答え」を「破」を「建」を「た」を「が」を「い」を「今」を「た」を「77」

橋338



がん治

横浜士

横浜市は、「ビッグデータ(DB(ナショナル)を活用の実態把握をの市町村で初いう。多くの医療課題など切な医療を提狙いだ。

市は2011撲滅対策推進したもの、その情報は全やアンケートのしかなく、かけている人数ができていな